



# 101%の潜在能力 信じる ライオンの子

こんにちは。園長の末広です。このお便りは園長が不定期にお届けしています。みなさんの日々の育児の少しの休息と勇気につながる事を願い心をこめて書いています。さて、夏を迎え我が園児たちも夏に負けじと活動のレベルがパワーアップしています。0歳から5歳児まで、笑顔と泣き顔と、くやし顔と、うれし顔、ほんとに子どもは、日々成長していますよね。今日のテーマは「がんばる」ということについて、少しお話したいと思います。

## 子どもはいつでも 頑張れるチャンスを探っている

ぞう組のカリキュラムの中に、「あるいていこう！津堅島」という9月の津堅島お泊まり保育への園から港までの道すじ28キロを少しずつ少しずつ歩き、自分の足で津堅島までたどり着く、そんなカリキュラムがあります。大人の私たちとしては、驚くほど大変なことのように思いますが、なんと子どもたちは、1歩1歩、目的地を目指し、その頑張るすべてを楽しんでいるのです。空を感じ、風のおいしさをかき、先生の背中、歩幅の違い、足のつかれ、道行くおばあとの会話や、休憩のお水のおいしさ、母からのお弁当の感謝の気持ち、すべての出来事がそれぞれの感じ方で、それぞれの心の強さにつながっています。我が園の理念「自助教育」、自助の努力は必ず自分を助け、がんばることはおもしろいこと、それを知れた子どもは強いのです。

園長先生が贈るお便り、日々の育児のささやかな参考になれば...

## 園長先生の森



すぐに「わからない」ではなく、「きつとわかるはずだ、なにかヒントを探してみよう」という気持ちを生み、そしてそれが習慣化されると、どんな時どんな環境でもまずはあきらめずに、がんばってみようという強さを我が園では育てたい。それはきつとこれからの時代を生き抜く大きな力となるはずなのです。**がんばれる実感 二歳イヤイヤ期** 二歳ごろになると、子どもの中に自我が芽生え、何でも「自分で」「自分でできる」と主張するようになります。家庭で両親や兄弟姉妹のマネをし、なんでもががんばってやろうとします。

私園長の子も実は二歳なのですがとても大変でとても面白い時期を迎えているのです。しっかりと受けをしてくれるつもりでも、何度言っても聞かないわがままっぷりをおおいに発揮しますし、スーパーなどで大泣きして自分の主張を繰り返す。本当に、親の顔が見てみたいと思うほどに、場所関係なく親を困らせたりしますが、そんな大変な二歳時期も時間をかけてしっかりと叱ったり繰り返し話すことで、必ず伝わります。逆にそのエネルギーこそが、なんでも出来る三歳、四歳へと導くんですよ。

「頑張りたい思い」をうまく受け止めてあげて、聞く耳を持つて接話してくれるように成長します。がんばる喜びを共有しましょう。がんばることは「ほめる」ことにつながります。「ほめる」ことは、子どもが一番の成長の味方です。遊び、学びが大好きな子どもの心の中に飛び込み、どんどん褒めるチャンスを見つけてほしいと思います。園のお便り帳や先生からの伝言を通してどんどん褒めてください。その自信が我が子の笑顔になり、個性を育んでいきます。脳の70%が3歳まで、90%が5歳までに形成されるという有名なデータがありますが、これはいつでも笑顔忘れずに。



- ライオンの子保育園の保育目標 私たちは
1. 愛するこころ
  2. あきらめないこころ
  3. 感謝するこころ
- を育てます。

\*園長:末広  
ライオンの子保育園 園長  
沖縄幼児教育研究会 会長

\*園長先生と育児、教育相談、なんでもOK! 面談希望は随時受け付けています。(予約制) 希望者は担任、または事務室まで! 24.8.1発行VOL.2